

会社訪問

中国・四国支部

株式会社 舟木義肢

代表取締役 舟木 健一 氏



〒702-8004 岡山県岡山市中区江並102番4号
TEL 086-274-6569 FAX 086-274-3900

平成30年2月3日、岡山県岡山市中区にある株式会社舟木義肢を訪れました。岡山市は、中国地方、岡山県の南東部に位置し、桃太郎の伝説と吉備団子や西大寺会陽(裸祭り)、温暖な瀬戸内の気候により育まれたブドウや桃など高級フルーツの産地として有名です。中心部には岡山城や日本三名園の一つである後楽園があり、岡山藩池田氏の城下町として栄えた江戸時代以来、地域中心都市として発展してきた高層ビルの立ち並ぶ中心部と、閑静な田園や中山間地域が広がる郊外部を持っています。

1. 会社の沿革

株式会社舟木義肢の創業者である舟木律則氏は、奥村濟世館の岡山営業所長として赴任後独立し、昭和18年に岡山市北区東中央町で舟木義肢装具製作所（旧名）を創業しました。舟木律則氏は、昭和44～47年に日本義肢協会の理事を務めています。

昭和52年、舟木律則氏の死去により長男の舟木健一氏が、舟木義肢装具製作所の代表に就任し、昭和60年、株式会社舟木義肢に名称を変更し、代表取締役社長に就任しました。

翌年の昭和61年には、妻である舟木美砂子氏（作業療法士）の発案で岡山県初の介護ショップ（ハンズケア事業部）を開業して、在宅訪問による相談販売やレンタル事業を行いました。要介護高齢者や障がい者の自立を支援する福祉用具の必要性を痛感し昭和62年から福祉用具の研究開発に着手しました。その後約18年間に開発した福祉用具は、褥瘡予防のための体位変換用具『ナーセントパットA』やベッドサイド型ポータブルトイレ『ナーセントトイレ』、車いすクッション『FCクッション』、立立式介護用電動リフト『スカイリフト』

などで、これらの商品は、『ムヒ』でお馴染みの株式会社池田模範堂（富山市）と業務提携することで全国へ販路を拡大することができました。

平成11年に介護保険制度施行に合わせて居宅介護支援事業所及び福祉用具貸与事業所の指定を受け、平成15年には業務拡張のため、ハンズケア事業部を岡山市江並に移転し、江並支店福祉用具センターと改名しました。

平成17年に株式会社池田模範堂ソネックス事業部の営業部門を吸収し、アイ・ソネックス株式会社を設立。舟木美砂子氏が代表取締役となり、福祉用具メーカーとして全国の代理店へ福祉用具を販売しています。

その後平成28年10月、本社を岡山市北区東中央町から、現在の岡山市中区江並102番4号に移転し現在に至っています。



江並支店福祉用具センター



舟木社長と奥様



アイ・ソネックス株式会社



玄関ホール

2. 舟木社長の経歴

昭和45年に神奈川大学を卒業した後、舟木義肢装具製作所に入社し、技術習得のため、国立身体障害センター附属補装具技術研修所に長期研修生として入所し、飯田教室で3年間の研修を受けました。昭和48年に舟木義肢製作所に戻りましたが、昭和52年に父である舟木律則が死去したため、若干30歳で代表に就任しました。日本義肢協会においては、平成3～7年まで事務改善委員会委員、平成9年中国・四国支部理事、平成12～13年座位保持装置及び靴型装具に関する特別委員会委員、平成17～24年の間、中国・四国支部支部長兼理事を務めました。平成22年には、厚生労働大臣表彰を受けています。

3. 経営方針及び仕事に対する考え

当社の使命は、補装具から福祉機器・介護用品をトータルに提供することで、疾病や事故などで心身に障がいを持つ方々の治療段階から在宅生活までを切れ目なくサポートし、生き活きとした暮らしを実現するお手伝いをすることです。

社員一同技術力・製造力の向上に努め、医療福祉現場のニーズに迅速に対応できる発想や開発力を磨き、皆様のご期待に添える企業を目指しています。

4. 従業員数と構成

本社は、義肢装具士10名（女性3名）、シーティングエンジニア1名、車椅子シーティング技能者1名、製作技術者9名、事務員2名、企画推進室1名で、江並支店は、営業7名、事務員3名で、全社で合計34名です。



土曜日に出勤されていた従業員の皆様

5. 新社屋のこだわり

新社屋は、平成28年10月に完成しました。新社屋のある岡山市中区江並は、岡山駅から南南東に位置し、岡山県トラックターミナルをはじめとした物流拠点が設けられており、農地が宅地や工場へと転用されつつある場所です。

まず社屋は、ユーザーやご家族、医療福祉関係者の方々に、義肢装具や座位保持装置、車いすの製作場面を気軽に見学できるようオープンな雰囲気建物にしました。また、休憩室は、社員同士がリラックスして交流できるようカフェ調にし、会議室は、地域の医療福祉関係者と共に勉強会を開催することも念頭に設計しました。

今後の展望としては、本社と江並支店、アイ・ソネックス(株)が三位一体となって、心身に障がいを持つお子様からご高齢者までの生活を包括的にサポートする企業を目指しています。今後伸展する少子・超高齢社会にあって、その社会的役割が果たせるよう各部門の連携を密にしながら成長して参りたいと考えています。



事務所



採型適合室



工作棟内部

本社は2階建てで、1階が事務所、待合ホール、採型適合室、工作棟、倉庫等があります。2階は、会議室、休憩所、役員室等で構成されています。



機械室



モデル修正室



座位保持装置の製作



休憩室



会議室

工作棟の中で特に粉塵やほこりの発生しやすい機械室や縫製室の対策として、吸塵装置や特殊空気清浄機を導入し、作業しやすい職場環境の清潔維持に努めています。

6. 義肢装具製作の仕事は分業ですか？

当社でも徐々に分業化が進んできていますが、義肢装具士の採型や適合業務のスキルアップには、製作技術の研鑽が大切だと考えていますので、現段階では効率化のみを目的とした分業を積極的に進めてはおりません。

7. 勤務時間と休日

勤務時間は平日 8 時30分から17時30分です。休日は日曜日、祝日です。各従業員が年間就業カレンダーをもとに週40時間労働になるようにしています。土曜日は1回出勤で2回休みのローテーションを組んで、3班に分けて土曜日に出勤しています。

8. 社内会議（朝礼等）

毎日の朝礼では、当日の予定や出欠、連絡事項の確認を行い、月に一回は各部門の代表と取締役が集まって全社定例会議を行い、月毎の収支決算の概要を公開し、各部門からの議題を検討しています。また、グループウェアのサイボウズ Live を利用して掲示板による情報共有やチャットを使った業務連絡などを行っています。

9. 社内教育および社外教育

日本義肢装具学会や日本義肢装具士協会、日本義肢協会、日本車椅子シーティング協会、日本リハビリテーション工学協会等の学術大会やセミナーに、希望者にはできるだけ参加してもらっています。また、不定期ですがメーカーをお呼びして新製品や新機器等の勉強会を行っています。

10. 従業員との親睦、社内行事

毎年お花見会、忘年会、歓送迎会を行っており、有志による温泉同好会や数年に一度は海外への社員旅行（香港、ハワイ、上海、台湾など）を実施しています。

11. 会社と地域のつながり

岡山ポリオ会のセミナーのご支援や、橋本義肢製作株式会社様と共に「岡山義肢装具を考える会」の勉強会開催などを行ってきました。

12. 産業廃棄物の処理・環境問題

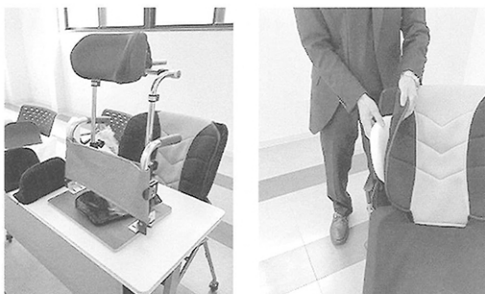
会社の産業廃棄物（プラスチック・金属・石膏・その他）は、ステーションに貯めておき、定期的に産廃業者に委託して廃棄しています。

13. 社長の楽しみとか趣味

適量のお酒、ゴルフなどを楽しんでいます。また、プロ野球のファンで、年に数回は甲子園などに野球観戦に行きます。

14. 会社独自で開発した製品

平成21年度ものづくり中小企業製品開発等支援補助金の助成を受けて、「モジュラー型座位保持装置」の開発に着手し車いすのヘッドレストや座位保持用パッドの製品化を行いました。また、肘装具やCM装具等の開発・製品化も行っています。



開発した車椅子のシーティング

15. 日本義肢協会への要望

日本義肢協会は、常に厚労省とのつながりを持って欲しいと思います。

若い将来のある義肢装具士が、不安なく知識技術を磨き、安心して仕事に従事できるよう技術に見合うだけの報酬価格の改定を厚労省へ働きかけて頂けるよう願っています。

また年々、入院期間の短縮にともない治療用装具の納期が早くなっており、納期に間に合わせるために、残業や人員補充で対応せざるを得ない状況です。一企業の努力だけでは解決できないこともありますので、業界全体の課題として取り組んでいただければと思います。

後とも、ご活躍をお祈りしています。

舟木社長はどんな人なのか、従業員の亀井さんに伺いました。

舟木社長は、真面目で寡黙、温厚で誰に対しても優しく、また社員の適性を見極めた上で意見や希望を聞き、中立的な立場で物事を判断されています。従業員全員を大切に思ってくださいっていると良く感じます。だから、社長の下で仕事を頑張ってやろうという気持ちになります。私人としては、酒、温泉、野球が大好きな人です。（野球は詳し過ぎてついでいける人は少数ですが…）

一言でいうなら女性に優しい紳士です。



従業員の亀井さん

（広報委員 東原孝典）

おわりに

舟木社長と奥様には、大変お世話になりました。土曜日にも関わらず社内の見学と説明をしていただき、ありがとうございます。社内のインテリアもセンスよくまとめられており、すごく働きやすい会社だと感じました。舟木健一社長と奥様には、今